

ネットでのコミュニケーションマナー

SNSやオンラインゲームのチャットなど、私たちはネットを利用して人とやり取りをする機会が多くあります。しかし、ネット上での会話は現実世界の会話と違い誤解が生まれやすいといった特徴があります。



なぜネットでは相手の気持ちがわかりづらいの？

現実世界の会話では言葉だけでなく、相手の表情、声の大きさや話し方（沈黙や抑揚）などから相手の気持ちを汲み取ることができます。もし、間違った伝わり方をしても、すぐにその場で訂正することができます。

しかし、SNSやチャットなどネット上での会話では、文字だけのやり取りになってしまうため同じ言葉でも、読む人の考え方やその時の気分によって受け取り方が変わってしまいます。

トラブルにならないために

○友達とのトラブルを防ぐ使い方

・相手の気持ちを考えましょう

冗談のつもりが相手を傷つけてしまうことがあります。
送る前に相手の立場になって考えましょう

・既読＝すぐ返信できるとは限りません

返事が遅いから無視されたなどと思わないようにしましょう。

・個人のやり取りを勝手に共有しない

相手の気持ちを大切に、安心してやり取りできる関係を保つようにしましょう。



○相手への伝え方を工夫する

文章だけのやり取りでは、絵文字や改行が気持ちを補う大きな役割を果たします。例えば「ありがとう」といった言葉でも「ありがとう！」であったり「ありがとう😊」の方が明るく優しい印象を受けるかと思えます。

「今日の課題さ、正直むずくない。時間足りないんだけど」よりも
「今日の課題さ、正直むずくない？

時間足りないんだけど💧」の方が読みやすくなりきつい印象を減らせます。
※過度なスタンプや絵文字の使用はふざけているといった印象を与えてしまうため注意が必要です。



○送信前に確認しましょう

- ・この文章、対面でも言えますか？
- ・冷たく見えないですか？きつい言い方になっていませんか？
- ・誤解されるような言い方になっていませんか？



ネットの向こうにも、自分と同じように感情を持つ人がいます。言葉の使い方ひとつで、友達との関係はよくも悪くも変わります。

「相手を思いやる気持ち」を忘れないようにしましょう。

